

もしものときののために 「人生会議」

誰でも、いつでも、命に関わる大きなケガや病気をする可能性があります。そんなもしものときのために自分が望むケアや医療について考えたり、周囲の人と話し合っていますか？

今回の研修会では、3名の講師をむかえ、それぞれの立場からの「いのち」との向き合い方を語っていただき、限りある「いのち」の活かし方を感じ、自分事として考えられる場としたいと思っております。

5月28（日）14：00～16：00

フェニーチェ堺 多目的室（2階）

堺市堺区翁橋町2-1-1

「アフリカの風 いのちの輝き」

早川 千晶



7月16日（日）14：00～16：00

堺市西文化会館・ウエスティ

セミナールーム（7階）

堺市西区鳳東町6丁600

「たましいの響き」

大河内 大博



9月2日（土）14：00～16：00

堺市西文化会館・ウエスティ

講座室（6階）

堺市西区鳳東町6丁600

「自分で決める自分のこと」

三谷 和男



*各回会場がことなります お気をつけください
開場は30分前となります。（各回定員50名）

参加費無料



ケニア在住
マゴソスクール主宰

早川 千晶

ケニア在住35年。キベラスラムのマゴソスクール主宰。世界放浪の旅の後ケニアに定住。

ナイロビ最大級のスラム・キベラで、孤児・ストリートチルドレン・貧困児童のための駆け込み寺・マゴソスクール、海岸地方ミリティーニ村にジュンバ・ラ・ワトト（子どもの家）を運営している。

スラム住民の生活向上、マサイ民族のコミュニティと共に行うエコツアー、大自然体験キャンプ、フェアトレード活動、CD制作などを手がけている。

著書に、「アフリカ日和」（旅行人）。1999年から日本全国各地でアフリカトーク&ライブのツアーを展開している。

2013（平成25）年には在ケニア日本大使館在外公館長表彰を、2015（平成27）年に第5回賀川賞を、それぞれ受賞している。

訪問看護ステーションさっとさんが願生寺

共同代表・チャプレン

浄土宗 願生寺 住職

2001年より病床訪問、2006年より遺族支援活動を開始。市立川西病院緩和ケア病棟臨床スピリチュアルケア・カウンセラー、上智大学グリーンケア研究所主任研究員等を経て、現在、浄土宗願生寺住職、臨床仏教研究所特任研究員等をつとめる。

（一社）日本スピリチュアルケア学会理事、（一社）スピリチュアルケア在宅臨床センター事務局長。

著書に『今、この身で生きる』（2014年・ワニブックス）、『ともに生きる仏教』（共著・2019年・ちくま新書）など。



訪問看護ステーション

さっとさんが願生寺共同代表

大河内 大博



三谷ファミリークリニック院長

三谷 和男

昭和58年 鳥取大学医学部卒業 医学博士

「三谷ファミリークリニック」は、西洋医学に漢方を取り入れた診療を行っており、長年東洋医学について研究している。「その人を取り囲む環境すべてを診ること」をモットーにし、患者一人ひとりの症状に応じた治療方法を提案。在宅医療への対応や、コミュニティスペースの運営も手がけ、人々が生き生きと暮らせるサポートにも尽力している。

奈良県立医科大学 大和漢方医学薬学センター特任教授

〈事前申し込み制〉

できれば3回連続での参加を推奨します。QRコードを読み取りの上、お申し込みください。定員に達した時点で締め切りいたします

お問い合わせ先

2023年度人生会議実行委員会@軸（つむぎ）
堺市西区鳳東町1-49



morichigusano@gmail.com

